

(第5号様式)

項目		主な内容	評価			
			◎：特に優れる、○：良好である、△：課題有り、×：改善を要する、－：非該当（市が判断し記入）の分類で左欄に記入し、◎・△・×に該当する項目については、右欄に所見を付記する。			
		(実施団体による評価)		(市による評価)		
有効性	事業の成果	事業の目標、目的どおりに成果が得られたか。	○	市から提供されたデータに基づき所在が判明した方（17人）に情報発信を行ない、6人から明快な回答を頂き、うち3人は具体的な相談へと移行しています。	○	市がなかなか実施できない物件の活用やその問題への法律的なアドバイスを実施し、実際に数件の空き家物件を除却予定に導き実績を示せた。
	モデル事業としての先進性	新たな成果や仕組みを生み出すなど波及的な効果が得られたか。	○	活動期間が約3ヶ月のため、問題解決までの成果は得られませんが、モデル地区の町会関係者から追加情報を頂くなど、本事業に対する期待は感じています。	○	限られた期間であったため、波及的な効果は見受けられないが、継続実施により、空き家の利活用等といった住宅政策などの分野への発展が期待される。
市民理解性	市民参加・協力	本事業を通して市民の理解や参加・協力が得られたか。	△	昨今の特殊詐欺等の治安悪化からか、郵送での情報発信だけで本事業を信頼していただくのは困難なケースもありました。状況により訪問も必要かと思えます。	△	限られた期間であったため、町会等の協力が一町会にとどまり、当該地区の町会等が興味を持つまでには至らなかった。
	市民への説明	事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業であったか。	×	市提供データに基づいての活動であり、個人情報守秘の観点からも、モデル地区以外での認知度向上は課題です。市広報やHPへの掲載、ニュースリリース、モデル地区拡大や町会説明会等、さらなる展開が必要と考えています。	△	モデル区域に限られていることから、該当地域における総会等での事業説明のみとなってしまう、市民が参加しやすい開かれた活動ではなかった。
実行性	予算・経費の妥当性	市から本事業に充当された費用は、収支予算書に沿って適切に使われたか。	○	ほぼ調査費だけの支出となり、残余が生じました。	○	活動期間が短かったため、予算に余剰があったが適切な支出及び予算運用であった。
	実施体制	事業を確実に実施するための適切な体制及び協働関係であったか。	△	引き続き市民への認知度向上が必要で、同時に、事業の性質上、市の建築指導課・道路課等にもご理解いただき、各空き家の利活用に向けて迅速に行動できる体制構築も効果的と思われます。	△	活動期間が短かったことや取扱件数が限られていたことなどから、実状を想定できなかったため、関連部署との連携等が不十分であった。
将来性	発展性	本モデル事業終了後、団体又は市事業としての発展は見込めるか。	○	各メディアによるこの問題の報道に加え、特措法も施行予定となり、これから需要は増加の一途を辿ると思われます。利活用の具体的な提案は行政には馴染まないため、引き続きモデル事業は必要と考えています。	◎	3か月と短い期間の実施であったため引き続きモデル事業の継続実施は必要である。また、関連する法律が五月下旬に施行されるため、今後当該問題の対策は強く求められていくと考えられる。
	公共公益性	本事業による成果は公共公益性からみて優れるものであったか。	○	各町会や市民個人から市への相談案件は継続して発生しており、公益性は大きいと思われます。	○	問題のある空き家の改善は、良質な住環境等地域のより良いまちづくりに推進に非常に関わりがあり、公益性が高い事業である。
	協働の効果	本事業は、行政のみによる施策よりも、協働による取組みの方が有効か。	◎	市に対する住民からの信頼と、民間の利活用についてのノウハウが協働することによって、問題解決に向けて前進していくものと考えています。	◎	当該事業は、行政が積極的に関われない部分であるため、地域住民と関連団体の連携は必要であり、総合的な空き家問題の対策には協働は不可欠と考える。
<p>総評（団体）</p> <p>空き家所有者とその物件の近隣居住者とのこの問題に対する温度差、民間市場に簡単には乗せにくい個々の事情等、空き家問題には根深いものがあります。いつまでも所有者の申し出を待っているだけでは解決しません。治安悪化の昨今、民間からの動きかけだけでは信用されにくい部分もあり、やはり市の存在は大きいと言えます。それと同時に、具体的な数字や方法を提示するのは、市の中立的な立場からは難しい面があります。そこで、法律専門職という、民間の中でも比較的信頼性が高いと感じられている人々から構成されるNPO団体が、市と協力して積極的に問題解決に乗り出していくというのは、国内でもあまり例を見ない先進的な取り組みです。</p> <p>この取り組みが周知され、将来的に市への相談案件を民間が処理できるようになれば、市の予算・人手を費消することなく、住民自治の原則に則った仕方でも問題を解決していけるものと考えています。この「船橋モデル」を全国に発信して、「空き家ゼロ船橋」を目指していくために、引き続き協働体制の下で取り組むことが有効と思われます。</p>						
<p>総評（市）</p> <p>3か月と短い期間であったため、取扱件数や賛同する町会数を広げるには至らなかったが、実際に空き家の管理や利活用の相談又は法律的な相談を受け、問題空き家の除却予定の実績を残せたことは、当該事業の有用性を感じる結果である。</p> <p>ただし、地域の住環境の主体である地域住民や町会等の理解や参加・協力が少なかったことが課題であり、説明会等の実施が必要である。諸課題を解消し、モデル地区の拡大も視野に入れ、引き続きモデル事業を実施する必要があるものとする。</p>						